

TOTO 施工説明書

品名 ウォシュレット一体形便器
型式 ZJ

安全に正しく施工していただくために

作業を誤った場合の危害・損害の程度をつぎの二つに区分しています。
いずれも安全に関する内容ですので必ず守ってください。

はじめに

- 製品の機能が十分発揮されるように、この施工説明書の内容にそって正しく取付けてください。
- 施工方法が新しくなっています。説明書をよくお読みください。
 - 電気工事が必要な場合は必ず電気工事業者に依頼してください。
 - 同梱の取扱説明書・使い方説明シートは、必ずお客様にお渡しください。
 - 取扱説明書中の保証書には、お買上げ店名または工事店名および取付日を必ず記入してください。



この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

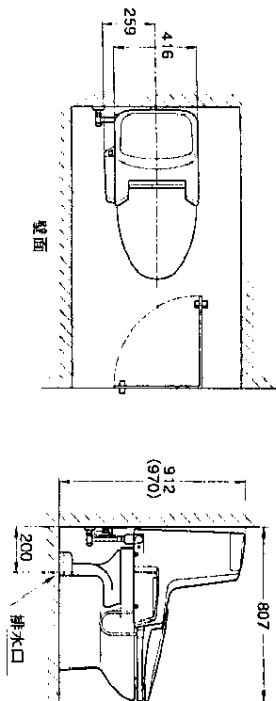
- 浴室など、湿気の多い場所には設置しないでください。
(火災や感電のおそれがあります。)
- アースは、第3種接地工事(100Ω以下)を行ってください。
(感電のおそれがあります。)
- 中水道や工業用水の水道に接続しないでください。
(皮膚の炎症などを起こすおそれがあります。)
- 電源プラグは交流100V(50/60Hz)のコンセントに根元まで確実に差込んでください。またガタついているコンセントを使わないでください。(火災や感電のおそれがあります。)



この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

- ロータンクの給水量を調整してください。
(ロータンクから水があふれだし、床を濡らすおそれがあります。
→ 調整方法は、裏面の **7** **ロータンクの水量調整** をごらんください。)

取付前のご注意



- トイレスペース
ドアの開閉に支障がないことを確認してください。

- 電源
電源は交流100V(50/60Hz)、定格消費電力は906Wです。
 - コンセント位置
コンセントは、本体のコード取出位置から0.8m以内の壁面に取付けてください。
電源コード・アース線の長さは1.0mです。
 - 給水圧力範囲
給水圧力範囲は0.05(流動時)~0.74MPa
- ※仕様の詳細は、取扱説明書の32ページをごらんください。

部品の確認

■ 総合セット品番

CES 910 B L Y G R # 色番

機種	種類
記号	
CES910	ZJ

手洗いの有無	種類
記号	
なし	なし
L	あり

タイプ	種類
記号	
R	便器洗浄大小 切替仕様

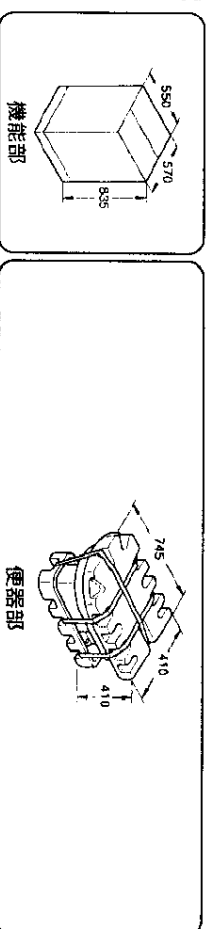
便器	品番
記号	
なし	C910
B	C910B

内部金具の種類	種類
記号	
なし	一般
Y	水抜方式

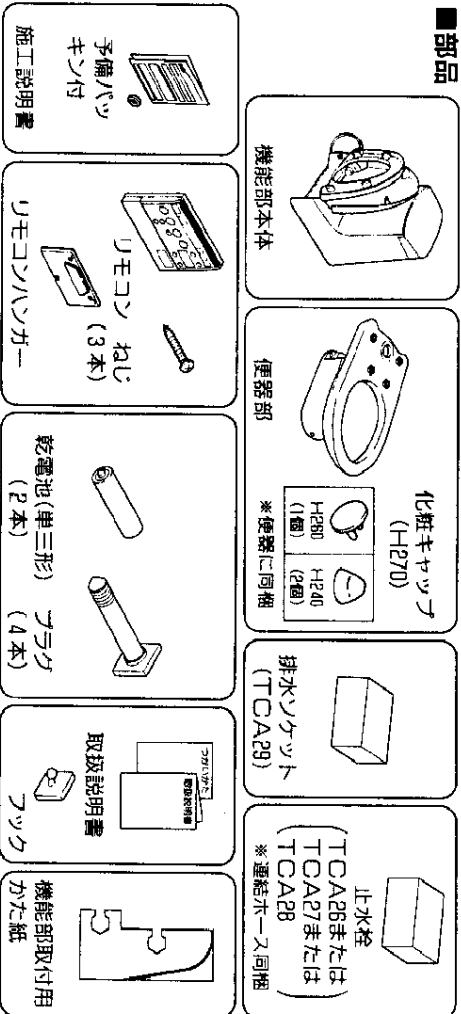
止水栓+(連結ホース)	品番
記号	
D	TCA26(コア式止水栓)
E	TCA27(ビス式止水栓)
G	TCA28(水抜方式:止水栓なし)

※排水ソケットの品番はすべてTCA29です。

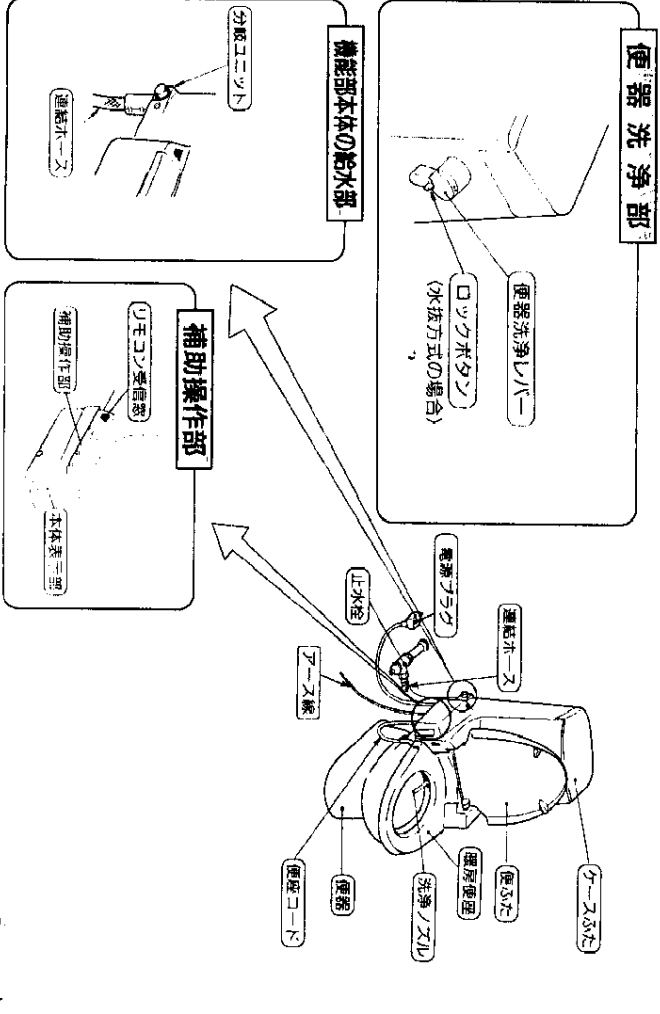
梱包



部品



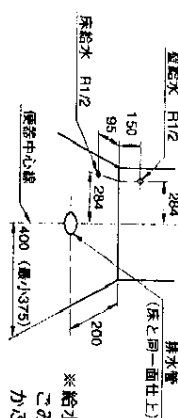
各部の名まえ



取付作業の手順

1 給水金具と排水管の位置決め	④ページ	7 リモコンの取付け	⑦ページ
2 止水栓(水抜きソケット)の取付け	④ページ	8 ロータンクの水量調整	⑧ページ
3 止水栓と連結ホースの接続	⑤ページ	9 試運転	⑩ページ
4 便器部の取付け	⑤ページ	10 ストレーナの掃除	⑩ページ
5 機能部本体の取付け	⑥ページ	11 お客様への引渡しの際には	⑪ページ
6 連結ホースと分岐ユニットの接続	⑥ページ	12 凍結による破損の予防	⑪ページ

■床排水便器の場合



※給水金具と排水管を取出したら、
こみなどが入らないよう、ビニールなどを
かぶせておいてください。

2 止水栓(水抜きソケット)の取付け

●同梱の止水栓または水抜きソケットを必ず取付けてください。

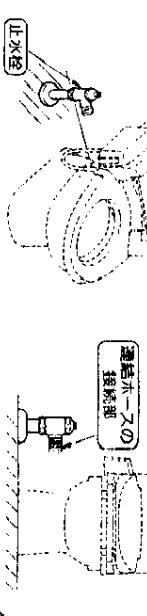
壁給水

連結管の接続部を便器側に
向けて取付けます。



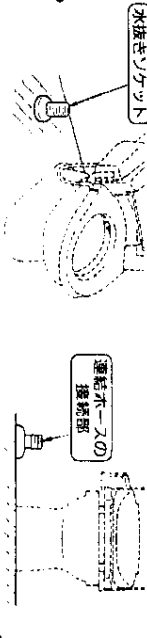
床給水

連結管の接続部を便器側に
向けて取付けます。



床給水

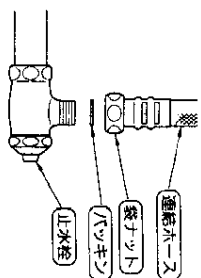
(水抜きソケットの場合)
水抜きソケットを取付けます。



※器具を取付ける前に必ず止水栓を開いて給水管内のかみ、砂などを完全に洗い流してください。

3

止水栓と連結ホースの接続（冷・温水）



止水栓と連結ホース（袋ナット側）の間にパッキンをはさんで締付けます。

4

便器部の取付け

詳しくは排水ソケットまたは便器に同梱の施工説明書をごらんください。

5

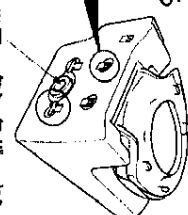
機能部本体の取付け

〈新施工〉

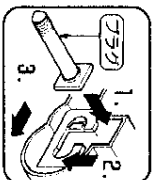
※固定カブラは、工場で便器の正しい位置に適性トルクで締付けていますので施工時締付けたり、ゆるめたりしないでください。

●機能部本体を取付ける

①ブラグを取付ける

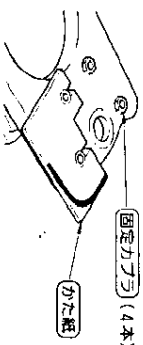


※ロータンクパッキンがついていることを確認してください。



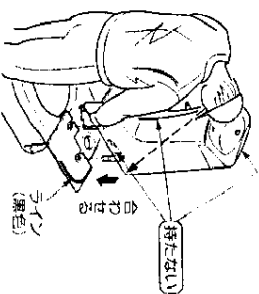
ブラグ（4本）を本体底に取付けます。

②かた紙を置く



便器上面に突出している固定カブラの六角フランジ部（右側2個）に合わせて、かた紙を置きます。

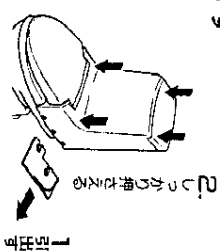
③機能部本体を取付ける



機能部のケース外周をかた紙のライン（黒色）に合わせてから便器に取付けます。

※機能部本体を持ち上げるときは、便座、便ふた、ケースふたを持たないでください。

④かた紙をはすす



1. かた紙を横に引出します。
2. 便座、便ふたをおろして機能部を上からしっかり押さえてください。

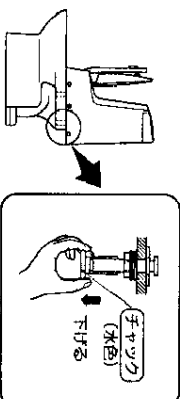
⑤確認する

機能部が固定されていることを確認します。

（機能部を軽く持ち上げて動かないことを確認してください。）

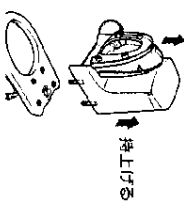
●機能部本体をはすす場合は…

①ロックを解除する



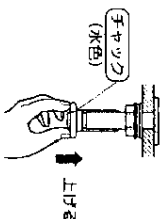
便器下面にあるチャック（水色）を下側にカチツと音がするまで下げて、ブラグのロックを解除します。（4カ所）

②機能部本体をはすす



そのまま機能部を上を持ち上げます。
（軽く持ち上げられない場合は、ロックが解除されていません。）
（無理にはずさず、①へ戻ってやり直してください。）

③チャックを上げる



チャック（水色）を上げます。
（4カ所）

●機能部本体をはすした後、もう一度取付ける場合は…

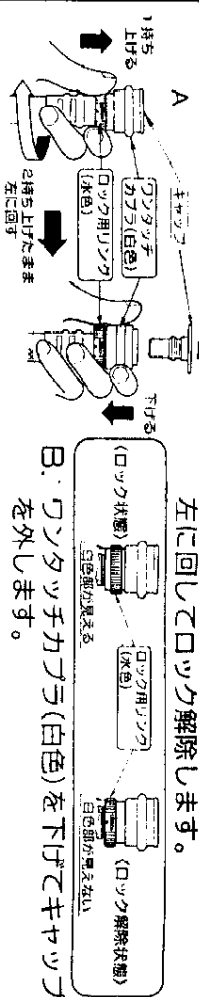
●機能部本体を取付ける

固定カブラにブラグを差込みます。

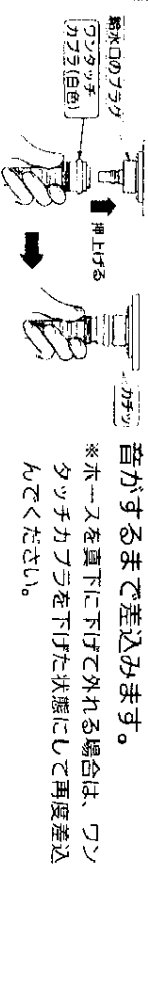
⑤へ戻し ⑤機能部本体を取付ける へ戻り、機能部本体を取付けてください。

6 連結ホースと分岐ユニットの接続 (新施工)

① キャップを外す

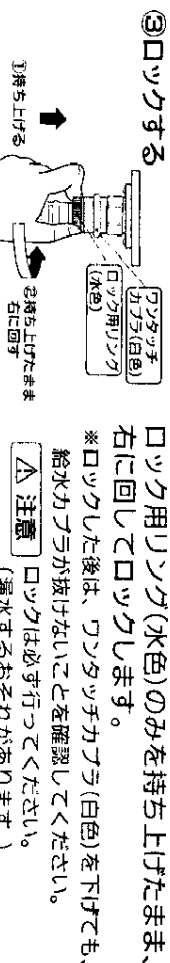


② 給水カプラを接続する

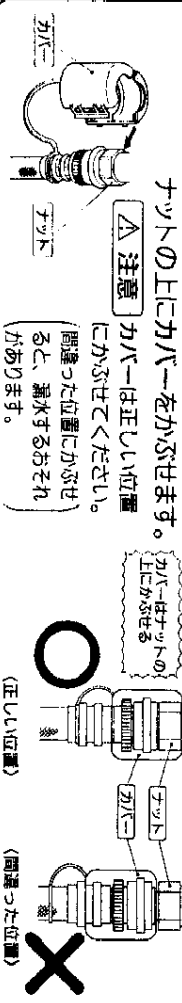


※機能部の給水接続は給水口のプラグを外す事により、管用平行ねじG $\frac{1}{2}$ へ変更できます。

③ ロックする

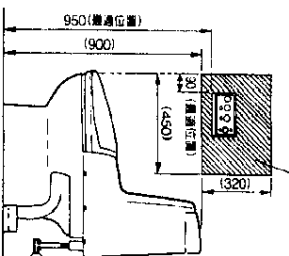


④ カバーをかぶせる

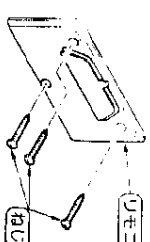


7 リモコンの取付け

①



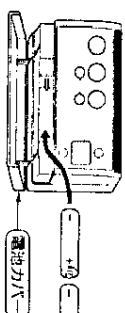
② リモコンハンガー



リモコンハンガーをねじで取付けます。

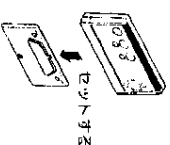
※ねじが使用できないときは、中空ボートアンカー類を使用してください。

③



電池カバーを開け、
⊕⊖の向きを確かめて電池 (2本) を入れます。

④



リモコンをハンガーにセットします。

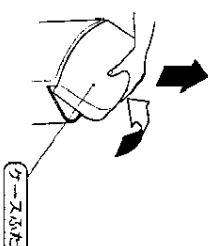
8 ロータンクの水量調整

1. 水漏れの点検をする

止水栓を開いて、配管からの水漏れがないことを確認します。

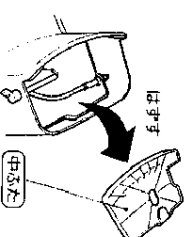
2. ケースふたを取りはずす

① 手洗いなしの場合



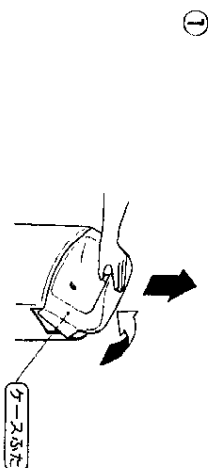
ケースふたの後方を上げながら
はずします。

②

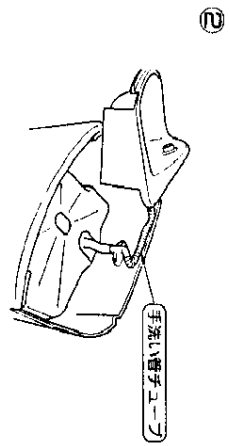


中ふたをはずします。

手洗い付の場合



ケースふたの後方を上げながら
はすします。



手洗い管チューブはつないだまま、
ケースふたを横に置きます。
※ケースにきすがつかないように
注意してください。

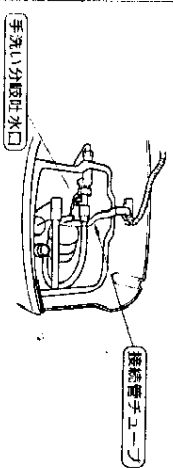
③ 中ふたをはすします。

④ 接続管チューブ(茶色)をはすします。

**止水位の調整をするとき、ケースふた(手洗い部)からも水が流れます。
次の手順でケースふたへの水をロータンクに流すようにしてください。**

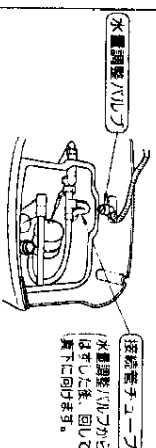
寒冷地仕様以外の場合

●接続管チューブを手洗い分岐吐水口から
はすします。

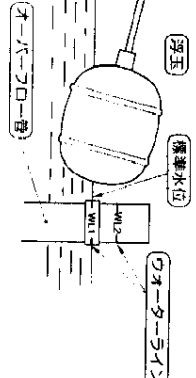


寒冷地仕様の場合

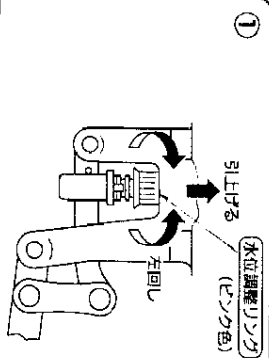
1. 接続管チューブを水量調整バルブから
はすします。
2. 下図のように接続管チューブを回して真下に向けます。



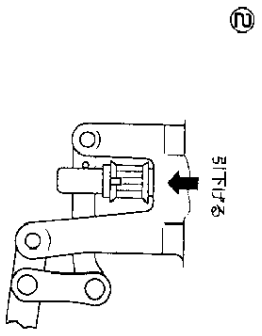
3. ロータンクの止水位をオーバーフロー管のWLに合わせる



ロータンクの止水位をオーバーフロー管の
WL1の位置に合わせてます。
※洗浄不良防止のため、止水位は確実に合わせてください。
※ラインが2本ある場合はWL1に合わせてください。
※既設便器(旧ZG・ZS)に取付ける場合はWL2に
合わせてください。

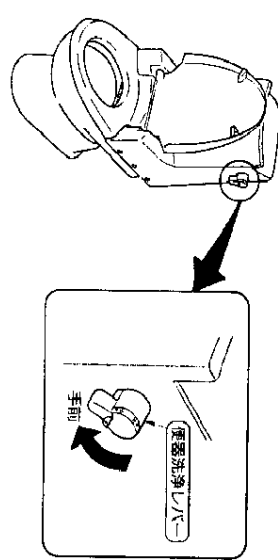


① 浮玉を軽く手で押さえながら水位調整リングを
引上げて回し、ウオーターライン
(オーバーフロー管にWLと表示)に止水位を
調整します。
※止水位の上がり、下がりの確認は、一度便器の水を流して
水位を下けた後、自然に止まる水位で確認してください。
※上から見て右に回すと水位が上がリ、左に回すと水位が下
がります。



調節後は、水位調整リングを引下げて
確実にロックします。

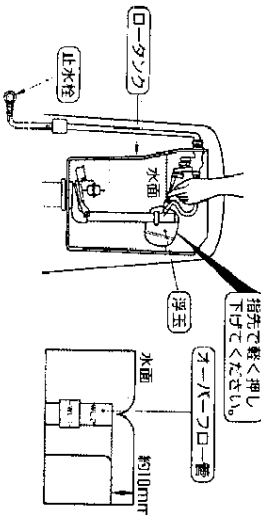
4. 水を流してロータンクの止水位を確認する



便器洗浄レバーを手前に
回すと水が流れます。

5. ロータンクの給水量を調節する

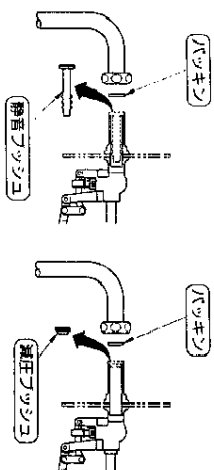
※万一、ボールタップが故障しても、ロータンクの水が外にあふれないよう、
必ず給水量を確認・調節してください。



① 浮玉を指先で軽く押下げ、
止水栓を徐々に開きます。
② 止水栓を全開にし、水面が
オーバーフロー管より10mm以上
上昇しないことを確認します。
10mm以上上昇する場合は、
止水栓で給水量を調節します。

■水圧が低く、ロータンク貯水に時間がかかりすぎる場合 (0.038MPa以下)

(寒冷地仕様以外の場合) (寒冷地仕様の場合)



- ① 止水栓または水抜栓を閉めます。
- ② 配管内の水抜きをします。
- ③ 静音フツシユまたは減圧フツシユをはずします。
- ④ 付属品のバッキンを使って、もう一度接続します。

■水圧が高く、給水音が激しい場合 (水抜方式)

※水圧が高いとロータンクへの給水音が激しくなり給水量が増えます。
ほかの水栓の吐水量に支障のない程度に元バルブを絞ってください。

6. 接続管チューブを接続する (手洗い付の場合)

接続管チューブを確実に接続してください。
(漏水の原因になります。)

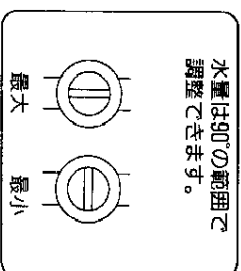
7. 手洗いの水量を調整する (寒冷地仕様手洗い付の場合)



水量調整バルブを⑤ドライバで調整します。

※このとき水は流さないでください。

(水を流すと本体内に水がかかり、故障するおそれがあります。)



8. 中ふたを取付ける

9. ケースふたを取付ける

※手洗い管チューブが折れないように注意してください。(手洗い付の場合)

10. 水を流して手洗いの水量を確認する (手洗い付の場合)

便器の水を流して手洗いの水量が適量になったか確認します。

9 試運転

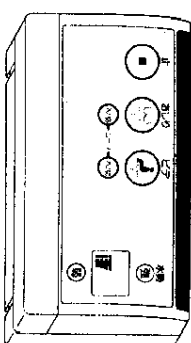
1. 電源プラグを差込む

⚠警告

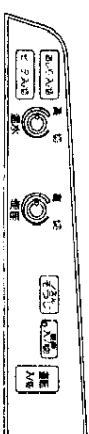
電源プラグを差込むとノズルが一度出て戻ります。
電源プラグは交流100V(50/60Hz)のコネセントに
根元まで確実に差込みます。

2. 正しく製品が機能するか確認する

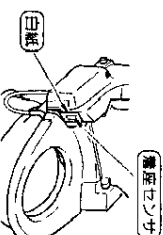
リモコン操作部



補助操作部

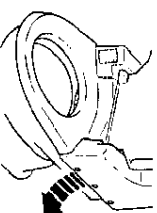


① 着座センサを白紙などでおおう



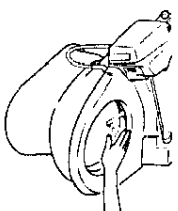
- 着座センサを白紙などでおおいます。
(白紙などでおおうと着座センサが感知した)
状態になります。

② 脱臭機能を確認する



- 本体ケースの右側から風が出ていますか?

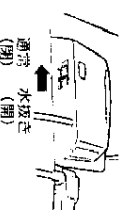
③ 洗浄機能を確認する



- ①を押すとノズルから適温の温水が吐水しますか?
吐水は手のひらで受けてください。
(タンクが空のときは吐水するまで約1分、)
温水になるまで約5分かかります。

※ノズル左側の排水口から水が出るときは水抜きレバーを
「通常」位置に移動させてください。

- ②(強)を押すと水勢が変化しますか?
- 本体から水漏れはありませんか?
- ③を押すと止まりますか?



④暖房便座機能を確認する

- 便座が温まっていますか？
(10～15分かかります。)

⑤着座センサの白紙などははずす

- 着座センサをおおっている白紙などははずします。

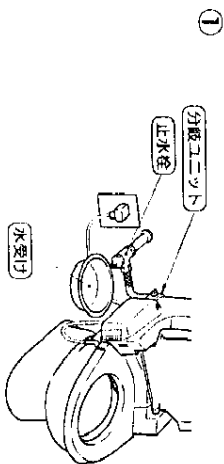
10 ストレーナ掃除

1. 止水栓を開める



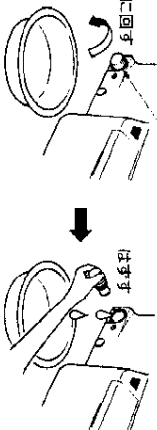
止水栓を
③ドライバーで開めます。

2. ストレーナふたをはずす



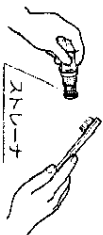
分岐ユニットの下に水受けを置きます。

② ストレーナふた



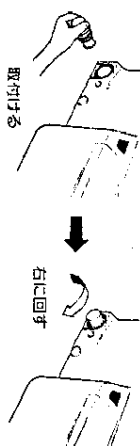
ストレーナふたを左に回してはずします。
※ストレーナふたを開閉するときはペンチなどの
工具は使わないでください。
(破損の原因になります。)

3. 掃除をする



ブラシなどで掃除します。

4. ストレーナふたを取付ける



ストレーナふたをもとの位置に戻し、
右に回して取付けます。

5. 止水栓を開ける



止水栓を左に回して開けます。
※漏水がないことを確認してください。

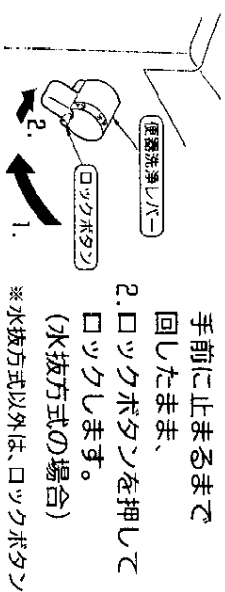
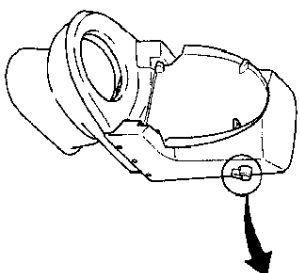
お客様への引渡しの際には

- 取扱説明書の最終ページの保証書に必要事項を記入のうえ必ずお客様にお渡しください。
- 製品の機能・つかいかたについてお客様に説明してください。
- 新築などでお客様に引渡すまでに時間があるときは電源プラグを抜いておいてください。

12 凍結による破損の予防

お客様に引渡されるまでに凍結のおそれがあるときは、漏水事故予防のため
止水栓または水抜栓を開めた後、次の要領で水抜きしてください。

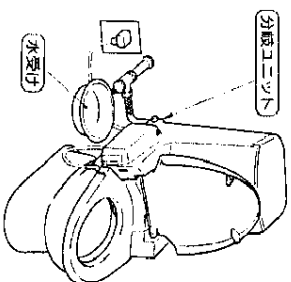
1. ロータンクの水を抜く



1. 便器洗浄レバーを
手前に止まるまで
回したまま、
2. ロックボタンを押して
ロックします。
(水抜方式の場合)
※水抜方式以外は、ロックボタン
はありません。

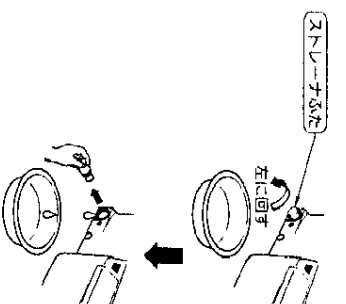
2. 配管の水を抜く

①



分岐ユニットの下に洗面器などの
水受けを置きます。

②

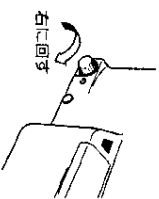


分岐ユニットのストレーナふたを
左に回します。

※ストレーナふたを開閉するときはペンチなどの
工具は使わないでください。
(破損の原因になります。)

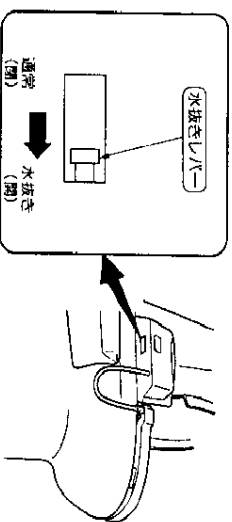
ストレーナふたをはずして
配管の水を抜きます。

③



ストレーナふたを右に回して
取付けます。

3. ウォッシュレット内の水を抜く



補助操作部下の水抜きレバーを
「水抜き」位置に移動させ、
ウォッシュレット内の水を抜きます。

※ウォッシュレット内の水は、約4分で
ノズル左側から便器内に抜けます。

4. 水抜きレバーを「通常」位置に戻す

5. 電源プラグを抜く

6. 便器の溜水の処置をする

便器の溜水が凍らないよう、
不凍液を入れるなどの処置をします。